

しごとを創る ～野々市らしい産業の創出～

●創業支援ネットワークの結成

平成28年6月に、市内で創業支援を行う各機関が情報の集約と市内での創業を推進するため、「野々市市創業支援ネットワーク」を結成した。

●野々市市創業支援事業計画の策定・認定

野々市市創業支援ネットワークを活用して、市内で創業をめざす方々を支援するため、野々市市創業支援事業計画*を策定し、平成28年8月に国の認定を受けた。

創業支援事業計画では、ワンストップ相談窓口の設置や創業塾の開催、ワンストップ相談窓口と連携した相談窓口を設置するなど創業支援を行うこととした。

※創業支援事業計画

産業競争力強化法において、市区町村が民間の創業支援事業者（地域金融機関、NPO法人、商工会議所・商工会等）と連携し、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催、コワーキング事業等の創業支援を実施する「創業支援事業計画（最長5年間）」について、国が認定することとしている。（経済産業省ホームページ）

●創業塾の開催

平成28年11月から12月にかけて、野々市市創業支援ネットワークと協力しながら、野々市市商工会の主催で、創業に係る基礎知識を学ぶ創業塾を全4日間の日程で開催した。学生9名を含む17名が受講し、地域でのネットワークづくりや学生の起業家マインドの養成につながる創業塾となった。

野々市市創業支援ネットワーク参加機関一覧

野々市市産業建設部産業振興課
野々市市商工会
日本政策金融公庫金沢支店
北國銀行営業統括部営業サポート課
北陸銀行野々市支店
福井銀行野々市支店
北陸信用金庫野々市支店
金沢信用金庫野々市支店
鶴来信用金庫野々市支店
のと共栄信用金庫ふるさと支援室
興能信用金庫額支店

<創業塾>



●企業立地の促進に関する条例の制定

平成28年12月に、人口規模に左右されない強固な産業構造への転換を図るとともに次代を担う産業を創出するため、企業立地の促進に関する条例を制定した。（平成29年1月1日施行）

条例では、対象業種に対し、企業立地の促進、雇用の拡大、市内企業の事業機会の拡大を図るため、企業立地促進助成金と雇用促進助成金を交付することとした。

対象業種

ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、自然科学研究所、デザイン業、機械設計業、ホテル（コンベンション機能を有するもの）

助成金の区分	交付要件	助成金の額
企業立地促進助成金	投資額：5,000万円以上 従業員：新設は常時雇用5人以上、増設は常時雇用2人以上増加	投資額×20%以内 (上限2億円)
雇用促進助成金	事業開始日前60日から事業開始日後6月以内に市内に住所を有する者を新規に常時雇用し、引き続き6月以上雇用	新規常時雇用者×50万円 (上限2,500万円)

●各種支援施策の実施

市内の起業家育成賃貸（インキュベーション）施設である、いしかわ大学連携インキュベータ（i-BIRD）の入居者に対する補助金をはじめ、産学連携による研究開発に対する補助金、新製品開発・販路開拓に対する補助金などを行った。

制度名	対象者	補助対象	補助金の額
いしかわ大学連携インキュベータ入居企業支援補助金	新規事業展開をめざし、いしかわ大学連携インキュベータに入居する者	いしかわ大学連携インキュベータの賃料	賃貸面積×500円×賃貸月数
産学連携スタートアップ事業補助金	市内に1年以上居住する個人又は市内に本社（本店）が存する中小企業者	市内の大学などとの委託研究、共同研究契約などに基づいて、事業者から大学などに支払われる経費	補助対象経費の2分の1 (上限50万円)
中小企業振興事業補助金（新製品開発・販路開拓支援事業）	市内に主たる事業を有する中小企業者（製造業及び卸売業に限る。）	(1) 国内で開催される全国的規模の見本市又は展示会への出品 (2) 国外で開催される見本市又は展示会で市長が認めるものへの出品	小間料、小間装飾料及び出品物輸送料に要する経費から県補助金を差し引いた額の2分の1 (上限50万円)

ひとの流れを創る ～安心して暮らせる環境づくり～

●ワークライフバランスの実現

多様な生き方が選択・実現できる社会をめざし、ワークライフバランスをテーマとした映画の無料上映会を1回開催し、啓発活動を実施する。

(金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町による石川中央広域圏男女共同参画推進協議会事業)

●幼児発達相談事業

幼児の言葉の遅れ等、発達面について不安のある保護者や相談希望者等に、幼児発達の専門家(臨床発達心理士)による相談・指導を年36回実施することで、保護者の不安解消を図り、子育て環境の充実に努めた。

●未満児保育実施事業

共働き世帯が増え、未満児から子どもを預ける家庭も増加しており、未満児保育の計画的な確保が求められることから、未満児専門の保育園として中央保育園を再開した。

●生活支援サービス基盤整備事業

高齢化が着実に進む中で、ゴミ出しや買い物などのちょっとした困りごとを、地域で支え合って解決する仕組みづくりが求められることから、地域支え合いマップを通した生活支援サービスの開発を行った。

<地域支え合いマップ>

安心して暮らせる地域づくりのために、住民相互の支え合いの関係などを地図におとし、助け合いを調べることで地域の実態を浮かびあがらせ、「地域診断」を行うことで、その力を最大限に生かしている。



“まち”と“ひと”とのつながりを創る ～地域・広域連携によるまちの基盤充実～

●ののいち絆プロジェクト

富奥地区の市民・金沢工業大学生・石川県立大学生・翠星高校・生活学校による野菜、加工品販売、クラフト体験などを行う『TOMISHE』^{トミシェ}を開催し、富奥地区の活性化を図った。

また、市民からアイデアを募集し、提案した団体と行政が協働でまちづくりに取り組む提案型協働事業の一つとして、空き家を利用し、市民の集いと支え合いを深める仕組みづくりのために、(一社)ケアサポートネットワークピーナッツ、本町2丁目町内会、金沢工業大学 Toiro プロジェクトの3団体との協働で2丁目カフェの整備を行った。

●在宅医療・介護連携推進事業 地域包括ケアシステムの構築

65歳以上の高齢者になっても、自分らしく楽しく暮らし続ける仕組みづくりのため、市民や働いている方などによる「運動」「食」「仕事」「住まい」「医療」「介護」のチームに分かれワークショップを実施した。

<コミュニティカフェ「2丁目カフェ」>



<ワークショップ>



●開設公園リニューアル事業

市民の憩いと安心に満ちた緑の空間づくりのため、野々市中央公園施設のリニューアルを行った。(椿観賞施設、椿育成棟、椿山整備、トイレ2棟、正面駐車場拡張、園路、照明灯)

●土地区画整理事業

新しい都市拠点である「健康防災拠点(西部中央地区)」及び「学術・新産業創造拠点(中林地区)」の土地区画整理事業の市受託事業として、埋蔵文化財調査、道路測量設計、補償算定業務及び都市計画道路の一部築造工事を行い、事業完了後の人口増加を見込んでいる。

●石川中央都市圏連携推進事業

石川中央都市圏ビジョンに基づいた以下の連携事業を実施した。

- ・小児科の夜間急病診療所の協働運営
- ・国際交流にかかる連携の強化
- ・歴史遺産の保存、活用のため連携し、全国に情報発信
- ・子育て事業に関する行政課題を解決するアプリを開発
- ・災害時の相互応援体制及び防災体制の強化
- ・上下水道事業の維持管理業務の共同化に向けた研究